●里山農園のササユリ開花直前の写真です。　金田徹さん撮影

2 日を開けるとこんなに大きくなりました。開花してやろうと気張っているのが伝わってきます。2007 年に里山農園の 1 号地 2 号地を切り開きそして、2010 年に 9 号地の教育棟を組み立てて斜面の除草をすると長い間土に眠っていたササユリが開花をしてくれました。地面に太陽が当たるようになって目覚めてくれたと思います。そして数年咲き続けてくれましたが、その姿が見られなくなって消えてしまったと残念に思っていたら今年は 1 本の茎に 5 輪の蕾が付きました。これは 8 年前の状況と同じになりました。うまく咲いてほしいと思っています。多くの皆さんにご覧になってほしいと思っています。昨年は 3 つの蕾がつき開花直前までこぎつけましたが、虫に全部食べられてしまいました。

開花直前　2023 年 6 月 3 日
午前 9 時頃の様子

2012 年に初めて咲いたササユリ

2013 年に咲いたササユリ 3 つの花

2014 年に咲いた 4 輪

2015-6-13 に咲いた 5 輪のササユリ

開花直前　2023 年 6 月 3 日　正午

2023 年 6 月 4 日
待望の
開花しました！
撮影：金田徹
午後 4 時頃

●6 月 1 日　新木津川出張所長・酒井さんとの話し合いの結果と概要報告

①芝田さんの時代淀川事務所に在籍　多くの現場を回ってきた　現在 59 歳　最後の現場であると思う

②時代の流れで 3M(人、物、金)が厳しくなってきている　工事が少なくなってきている　理解してほしい

③事務所長は東京からの人で現場は分からない　できるだけの協力はする

④竹蛇籠などは知恵を出していこう　水防団体との協力も一つの方法　防災への対応などの知恵があれば

　従来工法の継承普及啓発と勉強会等国交省がともにやろうと思う、提案があれば‥協力しやすい

⑤里山の会がレンジャーや木津川を美しくする会とのトラブルがあったと聞いている

　福井：5 月 28 実施の木津川清掃の取組についての件で、里山の会は関わってないと説明

⑥希少種の選別はできる力量が身につけてきた職員の成長がある。学者を利用しなくても判定が可能だ

⑦イタセンパラ復元にはかなり高いハードルがあると聞くが

　太田：京都水族館の協力によって、2 世を放流する手はずが整っている

⑧各施設の明示看板は設置されている　見つけてほしい

　所長の時間が 30 分間と短かったので、里山の会の説明に終わった。議論の時間がなく深められなかった

　具体化はこれからだ　かなり予備学習をしているようだ。手続きを踏んでいくべきだ。

里山の会の出席者：播川、大村、森島、有田、太田、福井、山村の 7 人でした

●ホタルの夕べと里山音楽会　参加者募集

2023 年度は長年里山農園の地主として農園活動を支えてこられた大村幸正さんが新しく光田重幸先生に理事長職を若手の幹部に代替わりの最初にお願いし「自然を大切にする仲間の輪を広げる」スローガンを掲げての取組としてふさわしいのが普賢寺地域での蛍の夕べと里山音楽会です。昨年はウクレレ演奏で楽しみました。また火起こし器を作ってみました。今年の耕作体験はどんな取り組みが計画されているのでしょうか。里山音楽会はこれまで幾度もお願いしてきましたが天気の関係で出演が実現できませんでした。

　初出演として三味線バンドの木下勉さんが里山の会にご加入いただきバンド仲間 6 人の仲間と共に「蛍の集いと里山音楽会」に演奏で協力参加いただく準備を進めてくださっています。これまでは和楽器では太鼓や尺八の演奏の協力をいただきましたが、三味線演奏は初めてであります。新芽一杯の里山農園での初取組に大きな期待をしています。さて本命のホタルの出現は、去年は高く低く飛び出してくれました。今年はどんな飛び出しをしてくれるでしょう

ホタルの夕べと里山音楽会　参加者募集

　今年もホタルの季節がやってきました。ホタルが多く飛べ始めるのは夜8時ごろからです。それまでの時間、今年は「竹細工工作」として、靴べラや竹の箸を作りたいと思っています。また、みんなと一緒にカレーライスを頂きたいと思っています。また里山音楽会として、今年は三線バンドの6人組の「キムジー」がやって来て沖縄音楽を演奏してくれることになっています。

日時：	2023年6月17日（土）　小雨決行
場所：	やましろ里山の会　里山農園（京田辺市普賢寺水取蔬谷）
参加費：	大人500円（会員400円）　小学生300円（会員200円）
服装：	活動できる服装（長袖、長ズボン）、靴は長靴が良い、雨具の用意、懐中電灯など
申し込み：	専用申込みフォームから（ここをクリック）　先着50名

プログラム

１５：００	竹細工工作、農園自然観察
１６：００	開会あいさつ、諸注意、参加者自己紹介
１７：００	夕食準備、カレーライス
１８：００	お話、クイズ
１９：００	里山音楽会、三線演奏（ギムジー）
１９：５０	場所移動、ホタル見学へ
２０：３０	流れ解散

主催　特定非営利活動法人やましろ里山の会

●木下さんから連絡が来ました。

*張り切って頑張って練習しています。当日はカレーを準備くださっていることを聞きました。先日京田辺市の中央公民館での催しや宇治のあさくら診療所に出演させていただきました。カチャーシーを踊れる場面があれば喜び合えるのではないかと思います。*との声が届けられました。

●先月 27 日の植物観察会に山下茂さん　元気にイヌハギの管理育成について解説をいただきました。里山の会が発見するまでは、京都府日吉町に 3 本ほどヨレヨレになって生育していると聞かされ、非常に大切な植物を発見したとして生育場所を公にしてこなかったのです。そして山下茂さんが管理をするとの申し出に基づいて管理を始めていただきました。発見当時 3 株の物を徐々に挿し木をいただき今では 80 株に増やしていただくという大成功となりました。木津川ではただの一カ所での生育地になっています。たぶん生育地の南限ではないかと思うとお話がありました。一応ここまで増やせばしばらくは絶滅の時期を乗り越えられたと判断してもいいのではないでしょうか。山下様のご苦労をたたえたいと思います。

当日確認した植物名は伊藤千恵子さんに整理していただきました　以下の通りです

駅前の植え込み　シャリンバイ（沖縄方面では、テーチギと呼ぶ）　ヘクソカズラ
ヒメブタナ（ブタナとの違いは、ヒメブタナは花が小さい、葉などに毛がほとんどない）

水路　カワヂシャ（準絶滅危惧種）葉の鋸歯が大きい。花の色　白っぽい
オオカワヂシャ（外来種）花の色　青いどちらもある。
コガマ（絶滅危惧種）葉の巾 5～6 ミリ（この辺りは木津川の氾濫原に当たるため、湿地の植物も多い）
その他、ハハコグサ、チチコグサ、タチチチコグサ、エダウチチチコグサなど、
ヒメツルソバ、キキョウソウ、ニワゼキショウなど　イネ科ではホソムギ、ネズミムギ、
カモジグサ、コバンソウ、ヒメコバンソウ、ハナヌカススキなど

堤防上、公園　ヒメジョオン、ヤナギバヒメジョオン、ヘラバヒメジョオン　区別がつきにくいのが多った。ニワゼキショウ、セッカニワゼキショウなど多数

目立ったもの　オオキンケイギク（特定外来種）が咲き誇っていた。
(栽培が禁止されているのを知らず植えておられる方もいて問題になっています）
フナバラソウ　今が花盛り、1 株だが、5 本ほど茎が伸びてきれいに開花していた。
そばに、ワレモコウ、ツリガネニンジンなどある。
テニスコートのフナバラソウ　今年は出ていない、随伴植物に、
ヤマアマドコロ（アマドコロとの違いはヤマアマドコロには葉の裏、葉脈上に毛がある、
村田源先生が同定なさったと言うことです）
神矢樋門のイヌハギ　元気に生育している。
花の時期は 9 月です。

● 6 月 3 日土曜日　農園作業

月が替わった途端に台風と梅雨前線の襲来で各地に被害が発生しました。2 日の降雨はゴーとうなりを上げる激しいものでした。土曜日は台風一過で良い天気になり農園では夏野菜の種まきや土寄せ作業が行われました。

●木津川の出水状況点検を太田さんが撮影してくれました。

ワンドまでは行くことは出来ませんでしたが C ワンドには完全に冠水していました。福井さんの報告では 4m 近くまで 2 日の 12 時ごろに、中聖牛の頭部分が辛

うじて確認できるとの連絡がありました。この様子だと高山ダムの放水は一週間は泥水となるので、10 日の魚とりの実施は中止とならざるを得なくなるのではないかと強い心配だとのことでした。摂南大学生たちによる生育調査は、こうした久しぶりの増水直後なので、新しい発見などがあるのではないかと大きな期待をしています。

●2023 年度京都府地域交響プロジェクト交付金申請の下準備を行っています。

事業計画について過日の第 29 回通常総会で 2023 年度の申請に事務作業の大変さから申請を心配する声が上がりました。しかしこうした補助金を活用した取り組みなしには充実した事業の展開には困難があることは十分理解されてのことですので、申請するとなると短期間で一挙に作成することは不可能でありますので、できるところから準備を整えておこうと思います。必要書類のうち事業計画書（スケジュールについて）の部分（案）ができましたのでお知らせいたします。これは申請することになればということが前提ですのでご理解ください。

事業計画書　（第 1 次案）

1	親子花見乗船体験	10 人乗り E ボートやカヌーを使っての体験　ライフジャケットの使用で水難事故防止の理解を深め、地域の内排水問題を学ぶ
2	春の野草を食する会	自然の移ろいを野草から学ぶ　採取を通じて自然の豊かさを学ぶ
3	親子植物観察会	身近な野原で野草の豊かさを理解できる場として開催（あの花なあに）
4	魚とり	木津川本川での体験を通じて、川の豊かさや自然の大切さを学ぶ場とする
5	イタセンパラ生息地調査	大学生の協力を得て天然記念物の復元のために生息池の外来種の調査
6	蛍の集いと里山音楽会	人の手の加わっていない自然でホタルを鑑賞し生き物の身近な野原で野草の豊かさを理解できる場として開催　命の大切さを実感する
7	夏の昆虫観察会	エノキ林がある貴重な環境を利用してオオムラサキやカブトとの観察を行う
8	親子夜の生き物調べ	夜間の生き物調査は珍しく、子供たちの視野を広げに役立ちたい
9	親子講演会	日本生態学会の元会長から生物多様性のお話を分かりやすく学ぶ場とする
10	秋の親子植物観察会	身近な野原で野草の豊かさを理解できる場として開催（あの花なあに）
11	子どもカヌー体験会	木津川は日本最初のカヌー発祥の地を理解し、豊かな自然と景観を実感する学びの場とする
12	子ども竹蛇籠つくり	伝承されてきた日本の土木工事の基礎を竹蛇籠製作を通じて体験する場とする
13	親子七草摘み	冬の厳しい中でも野草たち・七草のたくましい生育を観察し、七草などの役割を理解する
14	幹部研修会	里山農園での活動を通じて、引きこもり等精神的に悩んでいる人の、気休めの場との利活用の場への発展を考える時　私たちの学習の場として開催したい
15	木津川はどんな川	木津川はどんな川と説明する人達（河川レンジャーなど）に学ぶ資料とする

以上ですが開催内容説明で追加説明修正訂正があればご連絡をお願いします

●6 月 5 日　今月 10 日の魚とりの会場地（玉水浜）の水位を調べました。

参加者は城陽市教育委員会：末光、加藤

里山の会：森島、福井、播川、
有田、山村